

財政状況等一覧表（平成20年度決算）

(単位:百万円)

団体名 鹿町町

標準収入額等 A	普通交付税額 B	臨時財政対策 債発行可能額C	標準財政規模 A+B+C
458	1,375	99	1,933

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	2,999	2,871	128	113	94	5,003	
温泉施設事業特別会計	69	69	0	0	21	0	
一般会計等	3,046	2,919	128	113		5,003	

※「一般会計等」の数値は、各会計間の繰入・繰出などを控除(純計)したものであることから、各会計間の合計額と一致しない項目がある。

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
水道事業特別会計	199	149	50	4	67	817	217	法非適用企業
国民健康保険事業特別会計	717	671	46	46	35	0	0	
介護保険事業特別会計	486	435	51	51	86	0	0	
後期高齢者医療事業特別会計	51	51	0	0	18	0	0	
老人保健事業特別会計	75	75	0	0	4	0	0	
介護サービス事業特別会計	2	1	0	0	0	0	0	
公営企業会計等計				102		817	217	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法の全部又は一部を適用する公営企業である。
 2. 法適用企業会計以外の特別会計については「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づくものであり、資金不足額がある場合には負数(△)で表示している。
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額/不足額 (実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等負担見込額	備考
鹿町・江迎給食衛生一部事務組合	131	87	44	1	0	0	0	
佐世保広域圏北部鹿野処理一部事務組合	699	690	9	9	0	606	55	
松浦地区火葬場組合	51	47	4	4	0	0	0	
北松南部清掃一部事務組合	152	111	41	41	0	0	0	
松浦地区消防組合	722	717	5	5	73	113	17	
長崎県市町村総合事務組合	17,245	17,145	100	100	1,114	0	0	
長崎県後期高齢者医療広域連合	1,403	1,390	13	13	104	0	0	
一部事務組合等計				172		719	72	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体からの 出資金	当該団体からの 補助金	当該団体からの 貸付金	当該団体からの 債務保証に係る 債権残高	当該団体からの 損失補償に係る 債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
鹿町町振興公社	1	9	8	0	0	-	0	0	
長崎県林業公社	△4	71	0	0	23	-	0	34	
地方公社・第三セクター等計			8	0	23	-	0	34	

(注) 損益計算書を作成していない社団・財団法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A
財政調整基金	214	228	14
減債基金	81	99	18
その他充当可能基金	474	464	△10
充当可能基金計	769	791	22

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A	早期健全化 基準	財政再生 基準	資金不足比率 (公営企業会計名)	平成19年度 決算 A	平成20年度 決算 B	差引 B-A
実質赤字比率	4.44	5.83	1.39	△15.00	△20.00	水道事業特別会計	-	-	-
連結実質赤字比率	10.60	11.08	0.48	△20.00	△40.00				
実質公債費比率	14.2	13.8	△0.4	25.0	35.0				
将来負担比率	119.2	110.7	△8.5	350.0					
財政力指数	0.23	0.22	△0.01						
経常収支比率	97.2	93.6	△3.6						

- (注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数(△)で表示している。
 2. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
 3. 早期健全化基準に相当する「資金不足比率」の「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律△20%である(公営競技は0%)。
 4. 「早期健全化基準」及び「財政再生基準」は平成20年度決算における基準である。